

物価指数研究会（第12回）議事概要

- 1 日 時 平成30年12月27日（木） 10：00～12：00
- 2 場 所 総務省第2庁舎 6階特別会議室
- 3 議 題 (1) 2020年基準改定スケジュール（案）及び改定に向けた品目追加の検討について
(2) 外国パック旅行費及び航空運賃の取集及び指数作成方法について
- 4 出席者 (委員等) 美添座長、樋田委員、舟岡委員、元山委員
(統計局) 佐伯統計調査部長、永島調査企画課長、阿向消費統計課長、中村物価統計室長ほか
- 5 配布資料
書類番号1-1 消費者物価指数 2020年基準改定スケジュール（案）
書類番号1-2 2020年基準改定に向けた品目追加の検討（案）
書類番号2 外国パック旅行費及び航空運賃におけるインターネット販売価格の更なる捕捉・採用について（案）

6 主な意見等

議題1 2020年基準改定スケジュール（案）及び改定に向けた品目追加の検討について

- 基準改定スケジュールについて、統計委員会の諮問・答申は2020年7月頃となっているが、追加品目の調査開始は2020年1月からとなっている。間に合うのか。
⇒ 追加品目については、2019年春頃に統計委員会対応を行い、同年夏頃に意見募集を行った後、規則改正を行う予定。2020年の諮問・答申は廃止品目についての対応となる。
- 品目選定について、家計調査の結果をベースに追加・廃止の検討を行っているが、ネットを介したサービスについて、家計調査のみで十分捉えられているのか。ネット経由でしかサービス提供されないような形態のサービスも増えてきており、どのように捉えるべきか検討すべきではないか。
⇒ ネットを介したサービスに関してはデータが十分整備されておらず、ネット販売の専門誌などから情報を得ているものの、品目別に具体的な数字を得るのは困難。今回の基準改定には間に合わないかもしれないが、中間年見直しの際にネット販売で伸びてきたものを取り入れるなど、機動的な対応を検討したい。
⇒ 現在、家計調査及び全国消費実態調査におけるネット購入のよりの的確な把握方法について検討を行っている。

議題2 外国パック旅行費及び航空運賃におけるインターネット販売価格の更なる捕捉・採用について

(外国パック旅行費について)

- 価格取集自体はうまくできそうだとのことだが、取集した価格をどのように指数化していくかが大事であり、その点について更なる検討が必要と考える。
- 指数作成上のウエイトについて、今回の試算では企業から提供された情報を用いたとのことだが、実際に2020年基準で指数を作成していく際にも企業から情報を得るのか。
- ⇒ 毎年情報提供していただくのは企業側の負担が大きいため、基準改定検討時と、状況によって中間年見直し時、などのタイミングになると考えている。
- 旅行先や予約時期は、旅行月により変動するのではないか。その場合、月別・季節別にウエイトを変動させる必要はないか。
- ⇒ 月別の状況は不明であるが、繁忙期（GW、お盆、年末年始）・通常期別のデータの提供を受けている。そのため、ウエイトを変動させるとしても通常期・繁忙期別になると考えている。
- 接続性の観点で、現行の指数系列との動きの違いについて現時点で検証は行っているか。変動パターンが異なる可能性もある。
- ⇒ 今回の試算結果では、上昇・下落の方向は現行指数と同じだが、変動の大きさは現行指数より小さくなっている。今後もデータを蓄積し、分析を続けたい。
- 価格の変動要因について、旅行日が近づいてきたことによる価格の変化だけでなく、人気の高いプランの価格が入手できなくなることによる品質の変化も含まれている可能性はないか。
- ⇒ 企業ヒアリングにより、旅行日直前になってもプラン価格は変更されないことが確認できている。また、ヨーロッパやハワイについては、旅行日直前での購入はほとんどなく、繁忙期・通常期別の購入時期の情報を用いれば、実態に合った価格動向を捉えられると考えている。
- 人気の高いプランはすぐに売り切れてしまうため、ウェブ上の情報のみではデータが取集できなくなるおそれがある。今後CPIを経常的に作成していく上で、企業から安定的に取扱数量等の情報を得ることは可能なのか。
- ⇒ 今回のヒアリングにおいて、繁忙期には2～3か月前に人気プランが売り切れてしまうことを確認しており、7か月前までの予約に取集対象を拡大する予定。
- 検討対象となるパック旅行の目的地に中国が含まれていないのはなぜか。
- ⇒ 中国へはビジネス目的の利用が多く、観光目的での旅行は少ないことが確認できているため、採用していない。

(航空運賃について)

- 価格取集が適切に行えており、カバレッジや精度の向上という観点から有効であると考えられる。外国パック旅行と同様、指数のウエイトや季節性の検討、現行指数との比較について確認いただきたい。また、購入時期ごとの購入数のパターンは一定期間固定的と考えて良いか。例えば、昔は75日より前に多く買われていたが最近減ってきたといった状況変化はないか。
- ⇒ 以前は2か月前の予約が多い傾向にあったが、現在は減ってきているとのこと。それ以外の購入のタイミングについては、毎年同様な状況であることが確認できている。
- 出発日ベースの価格を用いるということは、家計調査の支出タイミングとずれが生じることになるが、致し方ないということか。
- 季節性についてはどうか。
- ⇒ 購入時期等については、季節ではなく繁忙期と通常期で違いがあることが確認できている。

以上